

被災者支援のための

トラウマ対応緊急講座

—— すべての方が安心してできるつながりと支えあいを目指して ——

この度の東日本大震災により被災された多くみなさまに、こころよりお見舞い申し上げます。また、お亡くなりになられた方がたに対し、深く哀悼の意を表します。

全青協では、阪神大震災の復興支援の経験をもとに、とくに被災地で孤立しがちな、子どもたちや高齢者のこころのケアに重点を置いて取り組んでまいります。つきましては、トラウマのケアに関する専門家である精神科医の水島広子さんをゲスト講師に迎え、緊急講座を開催します。

つらい出来事を経験された方、とくに、思いを大人のように自由に表現できない子どもたちには、愛情深い対応と長期的なケアが求められています。この講座を、こころのケアを実践したいと考えている方にぜひ受講していただきたいと思います。

また、受講後、希望される方には、「被災者こころといのちの相談員」として登録していただき、今後、中長期にわたって支援活動に携わっていただきたいと願っています。

多くの方のご参加をお待ちしております。

- 講 師：**水島広子氏**(精神科医)
- 日 時：① **4月25日(月)** 13:30~17:30
東京・築地本願寺
- ② **5月9日(月)** 13:30~17:30
京都・大谷婦人会館
- 受 講 料：会員 3000 円 / 一般 5000 円
 (資料用書籍代含む)
- 申 込 締 切 切 り：それぞれの会期の1週間前まで
 (①4月18日 / ②5月2日)
- 定 員：各 50 名
- 申 込 先：**(財)全国青少年教化協議会 被災者支援講座係**
 TEL/03-3541-6725
 FAX/03-3541-6747
 E-mail/gbs@zenseikyo.or.jp
- 協 力：大阪青少年教化協議会・京都府青少年教化協議会

お申し込みをされた方には、講習用のテキスト『怖れを手放す』(水島広子著)をお送りしますので、事前に必ず通読した上で、講座へ参加していただきますようお願いいたします。また併せて、振替用紙を同封させていただきますので、受講料を郵便局にてお振り込みください。お問い合わせは全青協事務局まで。

講師プロフィール



水島広子氏

慶應義塾大学医学部卒業。同大学院博士課程修了。医学博士。同大学医学部精神神経科勤務を経て、2000年6月～2005年8月、衆議院議員として児童虐待防止法の抜本改正などを実現。現在、対人関係療法専門クリニック院長。慶應義塾大学医学部非常勤講師（精神神経科）。対人関係療法勉強会代表世話人、アティテューディナル・ヒーリング・ジャパン代表。著書に「対人関係療法でなおすトラウマ・PTSD」（創元社）、「トラウマの現実に向き合うージャッジメントを手放すということ」（岩崎学術出版社）など多数。

タイムテーブル	13:30	趣旨説明&追悼法要
	13:45～15:00	トラウマのケアに関する講義
	15:00～15:15	休憩
	15:15～17:15	AHワークショップ
	17:15～17:30	傾聴ボランティアガイダンス

AH(アティテューディナル・ヒーリング)とは

アティテューディナル・ヒーリングは、心の平和を唯一の目的とし、自分の責任で心の姿勢（アティテュード）を選び取っていくというプロセスです。恐怖や不安、怒りや自責の念という感情にとらわれて「敵」のいる人生を過ごしていくのか、それとも、こういった感情を手放して無条件の愛を感じながら生きるのか、という選択は、個人の力で自由にできるという信念がその根底にあります。前者の心の姿勢を「怖れ」と呼び、後者を「愛」と呼びます。「怖れ」を否定するのではなく手放すことが、アティテューディナル・ヒーリング（AH）の中核です。

全青協の被災者支援活動

- 被災地に近い宮城県青少協・福島県青少協、会員寺院を拠点として、物心両面でのサポートを行います。
- 全国で被災者の受け入れ先を募集し提供します。
- 長期的に必要となる、被災者、とくに子どもや高齢者のこころのケアを行う相談員の養成と派遣を行います。
- 被災地における子どもたちの生活の質（QOL）を高めるための支援を行います。

■築地本願寺（東京会場）



■大谷婦人会館（京都会場）



●支援金を受け付けています●

《送付先》
 郵便振替：00150-9-46456
 銀行振り込み：三井住友銀行 目白支店 普通 0920876
 名義：財団法人 全国青少年教化協議会
 お問合せ：03-3541-6725(全青協事務局)
 ※郵便振替または銀行振込にてご送金ください。

■参加申込書

ふりがな	ご住所（ご自宅・寺院・所属団体）		※左記いずれかに○をおつけください
お名前	〒		
(年齢 歳)			
所属(所属団体名・寺院名)	いずれかに○をおつけください。		会員 ・ 一般
TEL:	FAX:	e-mail:	